精神科（必修・新阿武山病院）

1．到達目標

- 精神科初診患者に対して適切な病歴聴取を行い、精神状態診察の基本的事項を把握するとともに、診療録を適切に作成することができる。
- 統合失調症、気分障害、認知症及びアルコール依存症などの主要な精神疾患について理解し、その病態、診断及び治療の基本を説明することができる。
- 精神疾患患者との治療的関係を構築し、患者及び家族に対して尊厳を尊重したコミュニケーションを実践することができる。
- 精神科急性期病棟、精神科一般病棟、精神科療養病棟及び認知症治療病棟の機能と役割を理解し、それぞれの特徴を説明することができる。
- 入院患者の身体的訴えや身体的変調に対して適切な初期対応を行うことができる。
- 精神科医、多職種（看護師、精神保健福祉士、作業療法士、訪問看護師等）と連携しながら、チーム医療の一員として診療に参加することができる。
- 症例について適切に情報を整理し、カンファレンス及び研修終了時発表において症例提示を行うことができる。
- 精神疾患患者の診療を通じて、全人的医療及び患者中心の医療の重要性を理解することができる。

2．方略（LS）

- 問診マニュアルを用いて初診患者の予診を行い、指導医の初診診療へ陪席する。
- 専門外来及び上級医外来に陪席し、精神科診療の実際を学ぶ。
- 統合失調症、気分障害及び認知症等の入院患者を担当し、定期的な診察を行う。
- 精神科急性期病棟、精神科一般病棟及び精神科療養病棟において診療及び各種治療プログラムへ参加する。
- 精神科急性期病棟の新規入院患者を主治医とともに担当し、週間カンファレンスにおいて症例発表を行う。
- 精神科病棟入院患者の身体的訴え及び身体的変調に対する初期対応を経験する。
- 認知症治療病棟において診療及び認知症ケアプログラムへ参加し、新規入院患者を担当する。
- アルコール依存症治療病棟（AMC）において治療プログラム及び院内例会へ参加し、依存症診療について学習する。
- アルコール依存症患者の身体的問題に対する初期対応を経験する。
- デイケア及び作業療法のプログラムへ参加し、地域精神医療及びリハビリテーションについて学習する。
- 疾病教育プログラム（おはなし会、アルコール基礎講座等）へ参加し、患者教育及び家族支援について学習する。
- 多職種カンファレンスへ参加し、チーム医療を実践する。
- 研修終了時に症例又は研修成果について発表を行う。

3．評価（Ev）

全科共通の評価表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを用いて評価

4．スケジュール

＜研修基本スケジュール＞（表 1）

	月	火	水	木	金
AM ＊基本は **9:00 開始** ＊初日は朝礼に出席 （8:45 開始）	オリエンテーション 担当患者様の紹介 予診・初診陪席 （太田 Dr、森本 Dr）	予診・初診陪席 （南 Dr）	予診・初診陪席 （米田 Dr、柳川 Dr）	予診・初診陪席 （米田 Dr/松本 Dr）	**9:30-** **院長回診** **（1 病棟・隔週）** 予診・初診陪席 （米田 Dr、柳川 Dr）
PM 基本は **17:15 終了**			**17:30-（第3）** **医局会（大会議室）**		研修の振り返り

① 研修は 9:00～17:00 を基本とします（初日は 8:45 の朝礼で挨拶、以降の日は 8:30JR 摂津富田駅発の病院送迎バスに乗ってくる事）。学生は午前と午後に指導医に印をもらう事（欠席時には押印しません）。

② **無断欠席、無断早退及び無断遅刻は厳禁**です。必ず当日の教育担当に電話連絡してください。
＊出勤時、退勤時にタイムカードを通して下さい。これを以て出勤確認とします。

③ 当院での研修は、基本研修に加え、選択研修を 1 週通じて行うものとします。詳細は後述とします。

④ 午前中は予診、初診陪席を中心に実習し、選択研修の各プログラムに参加してください。
尚、担当患者様への定期診察は、実習の合間をみて行ってください。

⑤ 各プログラム、各講義については担当医や担当職員に確認をとり、積極的に参加してください。

⑥ 1、2、3、5 病棟は閉鎖病棟です。**出入りの際は必ず施錠確認**を御願いします。また、鍵が無い場合は病棟スタッフにお願いしてください。
尚、患者や患者家族の出入りについては全て職員に任せ、自分で判断しないようにしてください。

⑦ レポートについて：
→研修医は各研修病院の指示に従ってください。
→大阪医大の学生はレポートを 3 症例について作成し、当院院長に提出してください（1 症例につき A4 用紙 1 枚程度、教科書的記述ではなく、担当症例の診察内容を中心に記載する）。

⑧ 1 ヶ月研修の方は、研修終了時に医局会（第3水 17:30～）で精神科臨床に関する発表をお願いします。

＜基本研修＞

・初診陪席
問診マニュアルを参考に初診患者への予診をとり、書式に準じてカルテ記載を行い初診に陪席する。

・外来陪席
専門外来、上級医外来へ陪席する。

・担当患者への定期診察
当院入院患者（統合失調症、認知症、気分障害）への診察を行う。

＜選択研修＞　＊各研修は 1 週間を基本単位とします。

A. 精神科病棟研修（表 2）
- 精神科急性期病棟を中心に、精神科一般病棟、精神科療養病棟の各プログラムに参加する。
- 精神科急性期病棟への新規入院患者を主治医とともに担当し、水曜日の週間カンファで発表する。
- 精神科急性期病棟入院患者の身体的訴えに対する初期対応を行う。

B. 認知症治療病棟研修（表 3）
- 認知症治療病棟での診療、プログラムに参加する。
- 認知症治療病棟への新規入院患者を主治医とともに担当する。
- 認知症治療病棟入院患者の身体的変調に対する初期対応を行う。

C. アルコール依存症治療病棟（AMC）研修（表 4）
- AMC での治療プログラムに参加する。
- AMC への新規入院患者を主治医とともに担当する。
- AMC 入院患者の身体的変調に対する初期対応を行う。

D. 精神科外来研修（表 5）
- 精神科外来へ陪席、訪問看護への同行や、デイケア及び作業療法でのプログラムに参加する。

＜1 週間研修＞
- 基本研修を行う。
- 選択 4 研修の中から 1 研修を選択し研修を行う。
- 基本的にはプログラムへの参加を優先し、空き時間を利用して診察を行う事。

＜1 ヶ月研修＞
- 基本研修を行う。
- 希望者には、選択 4 研修を週毎に行う。なお、研修順序については当方で調整させて頂く事があります。
- 基本的にはプログラムへの参加を優先し、空き時間を利用して診察を行う事。
  疾病教育（おはなし会、アルコール基礎講座）へは可能な限り全てに参加する事。
  なおアルコール依存症治療病棟研修期間中は、院内例会への参加を優先してください。
- 病棟担当医、あるいは上級医に業務等は相談してください。
- 研修項目一覧表にある研修項目を行う。
- 金曜日夕には、選択研修の振り返りと、次の研修病棟への挨拶を行います。
- 医局会へ参加し、研修終了発表を行う（PPT 使用、15 分程度）。

A. 精神科病棟研修（表 2）　（担当：太田 Dr（PHS: 105））

	月	火	水	木	金
AM 9:00-9:30 1 病棟申し送りに参加	〈研修説明〉	10:30-11:30 SST（3 病棟） 10:30-12:00 SST（2 病棟）	病棟業務	病棟業務	病棟業務
PM 基本的には 17:00 まで	14:00- 疾病教室（3 病棟）	14:30-15:30 おはなし会(1 病棟) 14:30-16:00 SST（2 病棟）	病棟業務	病棟業務	16:00- 患者さんとの話し合い（3 病棟） 〈研修の振り返り〉

B. 認知症治療病棟研修（表 3）　（担当：森本 Dr（PHS: 103））

	月	火	水	木	金
AM 9:00-9:30（火・水・木） 5 病棟申し送りに参加	〈研修説明〉	10:15- 個人 OT （刺し子、塗り絵他）	10:15- ボウリング	病棟業務	病棟業務 or 専門外来陪席
PM 基本的には 17:00 まで	病棟業務	13:45- 集団 OT （体操）	13:45- 音楽の会	病棟業務	14:00- 集団 OT 〈研修の振り返り〉

※　この週に、物忘れ初診・再診外来の陪席を行う。

C. アルコール依存症治療病棟（表 4）　（担当：佐谷 Dr（PHS: 102））

	月	火	水	木	金
AM 9:00-9:30（木曜以外） 6 病棟申し送りに参加	〈研修説明〉	10:30-13:00 家族教室	病棟業務	10:30-12:00 ビデオ会	病棟業務
PM 基本的には、17:00 まで	13:30-15:00 やおきのつどい他 15:00-16:00 生物学的背景	13:30-15:00 院内例会 15:30-16:00 ARPG	13:30-14:30 基礎講座	13:30-14:45 グループミーティング	13:30-15:00 基礎講座 〈研修の振り返り〉

D. 精神科外来研修（表５）　（担当：樽谷 Dr（PHS: 106））

	月	火	水	木	金
AM 9:00-9:30（木曜以外） 6 病棟申し送りに参加	〈研修説明〉	個別活動（OT 室）	訪問看護同行 or 健康講座（第 1DC）	訪問看護同行	心理教育（第 1DC）
PM 基本的には、17:00 まで	予診・初診陪席 or 再診陪席	13:15-15:00 あぶやまゼミナール （第 2DC）	予診・初診陪席 or 再診陪席	予診・初診陪席 or 再診陪席	予診・初診陪席 or 再診陪席 〈研修の振り返り〉